

## ワッハービズムの詐術

前回、ハフポストの引用文で見て頂いたように

「アブドゥル・ワッハーブは、死者、聖人、天使をあがめたイスラム教徒すべてを非難した。そのような感情は、神に対し、また**神にのみ示されるべき完全な服従**を損なうと考えたのだ。」

このように**ワッハーブは「神アッラーのみへの完全な礼拝、崇拝、服従」を説いている**のです。それに従い、**イスラムの聖人に対してできえも、神ではない人間であるから、それに対する崇敬をも禁じている**のです。

ところが一方

「アブドゥル・ワッハーブは**服従を要求**した——物理的、具体的に示される服従だ。彼は、イスラム教徒すべては**1人のイスラム指導者**（カリフ、もし存在するならば）**に個人的に忠誠を誓う必要がある**と論じた。」（**生身の人間に対する個人崇拝を強要**しています。）

ワッハーブはその絶対的主張として

①一方では「神アッラーのみに対する完全な礼拝、崇拝、服従」を説く。

②他方では「1人のイスラム指導者のみに個人的に忠誠を誓う必要がある」としている。

①と②、この二つの主張は完全に矛盾します。

①神アッラーのみに対する崇拝服従と、②一人のイスラム指導者のみに（これは自分自身でしょう）に対する崇拝服従、この二つは同時に成立するはずがないのです。

もし成立するとするのならば、それは個人崇拝の対象者である生身の人間が、神アッラーと同一そのものだという場合のみです。そしてワッハーブが民衆に対してその個人崇拝を求める対象、それはワッハーブ自身以外に存在していないのです。

このように素直に見ればワッハーブは自分自身が神アッラーだとしている訳ですが、イスラム世界で自身を神アッラーだと規定するイスラム指導者がいるのでしょうか？ イスラムスンニ派？ ありえません。こんな呼称は全くバカげています。インチキ教祖様です。

矛盾を矛盾に見せないのが詐術です。それは宗教においては先ず**極端な見せかけによる権威付け**で行います。それで対象者を宗教教団の中に取りこみ、囲い入れて外部との接触を禁じ、外からの情報が入らないようにします。**教団の内部世界だけの情報で客観的な判断を失わせ洗脳**します。これがカルトの手法です。これと**ワッハービズムの場合は暴力による恐怖によって完全支配する手法**でしょう。**ワッハービズムとはカルトそのもの**なのです。